



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社サガミホールディングス 上場取引所 東・名
 コード番号 9900 URL <https://www.sagami-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 修二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理担当 (氏名) 中島 康文 (TEL) 052-737-6000
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,504	△30.9	△1,299	—	△1,281	—	△1,392	—
2020年3月期第2四半期	13,772	2.5	284	△29.7	320	△26.0	189	△25.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,401百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 178百万円(△30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△52.85	—
2020年3月期第2四半期	7.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	19,825	11,130	56.0
2020年3月期	18,570	12,526	67.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 11,117百万円 2020年3月期 12,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,450	△18.8	△1,300	—	△1,280	—	△1,450	—	△55.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	26,501,784株	2020年3月期	26,501,784株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	16,981株	2020年3月期	16,841株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	26,354,186株	2020年3月期2Q	26,352,357株

(注)「株式給付信託(BBT)」制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりますが、上記自己株式に含まれておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日)におけるわが国経済は、世界規模の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内における消費活動が冷え込み、経済活動が停滞することとなりました。同感染症においては、いまだ収束の目処は立っておらず影響は今後も続くことが予測されます。

外食産業におきましても、感染症拡大による政府からの緊急事態宣言や、自治体からの外出自粛要請に伴い、営業自粛や営業時間短縮など多くの店舗が通常の営業活動を控えることとなりました。緊急事態宣言の解除以降、徐々に売上高は回復基調となりましたが、前年の水準を下回っております。

一方で、消費者の不要不急な外出自粛に伴い、外食から中食・内食への急激なシフトも見受けられ、テイクアウトやデリバリー需要は堅調に推移しております。

コスト面においても、賃料減額交渉や管理可能経費の削減などに加え、グループ全体で構造改革に取り組みコスト削減を進めております。

引き続き当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全社で堅持しつつ、感染症拡大の予防に努めながら、テイクアウト商品の拡充、デリバリー対応店舗の拡大、機動的に販売施策を展開することで売上高の回復を図るとともに、売上高が前年以下の水準であったとしても利益を創出するべく損益分岐点の引き下げに努めてまいります。

(各事業部門)

① 和食麺類部門

和食麺類部門では、当社主力業態である「和食麺処サガミ」において、全店販売促進企画として「料理フェア」を3回、「サガミ夏の感謝祭」、「串かつ90円企画」、「手羽先70円企画」及び「一品料理増量企画」を各1回、高まるテイクアウト需要に対応するため、「テイクアウト商品全品10%OFF企画」及び「テイクアウト20%OFFチラシ」の配布を行いました。また、広告宣伝として、「シズル感」や「団欒」をテーマにしたテレビCMを2回実施いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は継続しており、既存店売上高は前年同一期間に対して30.6%減となり、既存店客数は前年同一期間に対して33.4%減、客単価が前年同一期間に対して4.2%増となりました。

店舗関係では、「和食麺処サガミ 豊橋柱店」(5月)、「和食麺処サガミ 新庄店」(7月)を閉鎖いたしました。

なお、当第2四半期末での店舗数は133店舗であります。

② 味の民芸部門

味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を4回実施したほか、「テイクアウト商品割引企画」、「感謝祭企画」を各1回実施いたしました。

店舗関係では、「味の民芸 春日部ユリノキ通り店」(5月)、「味の民芸 練馬平和台店」(9月)を閉鎖いたしました。

なお、当第2四半期末での店舗数はFC店舗を含み53店舗であります。

③ どんどん庵部門

どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を5回実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 豊田逢妻店」(4月)、「どんどん庵 東中島店」(8月)を閉鎖いたしました。

なお、当第2四半期末での店舗数はFC店舗を含み34店舗であります。

④ その他の部門

その他の部門では、団欒食堂「あいそ家」において、「料理フェア」を3回、「テイクアウト商品割引企画」、「プレミアム商品券販売企画」を各1回実施いたしました。大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「料理フェア」を4回実施いたしました。

国内店舗関係では、「びんむぎ 酒々井店」(7月)を出店いたしました。その一方、「健やか食堂」(6月)、「さがみ庭 イオン各務原店」(9月)、「かつたに アピタ四日市店」(9月)、「かつたに イオンナゴヤドーム前店」(9月)を閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、イタリアに「SAGAMI モデナ店」(7月)、「SAGAMI ボローニャ店」(9月)、ベトナムに「SUIZAN LOTTE Mart Go Vap店」(9月)を出店いたしました。一方で、「SAGAMI セントラルワールド店」(9月)を閉鎖いたしました。

なお、当第2四半期末での店舗数はFC店舗を含み34店舗となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,504百万円、営業損失は1,299百万円、経常損失は1,281百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,392百万円となり、当第2四半期末のグループ店舗数は254店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、19,825百万円と前連結会計年度末比1,254百万円の増加となりました。流動資産は前連結会計年度末比1,420百万円増加し7,500百万円、固定資産は165百万円減少し12,324百万円、流動負債は前連結会計年度末比227百万円増加し3,671百万円、固定負債は2,424百万円増加し5,023百万円、純資産は1,396百万円減少し11,130百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月15日に発表した連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,485,255	5,939,920
受取手形及び売掛金	344,436	372,468
商品及び製品	107,273	114,688
原材料及び貯蔵品	487,717	385,870
その他	655,698	687,888
貸倒引当金	△809	△809
流動資産合計	6,079,570	7,500,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,264,241	2,204,650
機械装置及び運搬具（純額）	393,223	456,928
土地	6,535,205	6,535,205
その他（純額）	261,288	255,598
有形固定資産合計	9,453,959	9,452,383
無形固定資産		
のれん	402,634	352,305
その他	160,532	136,809
無形固定資産合計	563,166	489,114
投資その他の資産		
投資有価証券	637,569	583,774
長期貸付金	112,943	100,231
差入保証金	1,543,496	1,528,717
繰延税金資産	19,120	21,830
その他	160,362	148,934
投資その他の資産合計	2,473,491	2,383,487
固定資産合計	12,490,618	12,324,985
資産合計	18,570,189	19,825,013

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	581,686	557,850
1年内返済予定の長期借入金	487,932	857,728
未払金	1,779,337	1,318,742
未払法人税等	58,754	99,921
賞与引当金	135,893	291,674
店舗閉鎖損失引当金	19,225	41,972
その他	381,274	503,539
流動負債合計	3,444,104	3,671,428
固定負債		
長期借入金	1,789,298	4,175,396
長期未払金	199,386	199,235
株式給付引当金	23,235	20,557
退職給付に係る負債	2,677	2,237
資産除去債務	464,589	507,907
長期預り保証金	83,662	79,871
その他	36,333	38,063
固定負債合計	2,599,181	5,023,268
負債合計	6,043,285	8,694,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,178,109	7,178,109
資本剰余金	4,280,379	4,280,379
利益剰余金	1,184,507	△208,465
自己株式	△183,395	△183,578
株主資本合計	12,459,599	11,066,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,206	53,988
為替換算調整勘定	△10,030	△3,155
その他の包括利益累計額合計	53,176	50,833
非支配株主持分	14,127	13,037
純資産合計	12,526,904	11,130,316
負債純資産合計	18,570,189	19,825,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	13,772,776	9,504,910
売上原価	4,252,752	3,079,028
売上総利益	9,520,024	6,425,881
販売費及び一般管理費	9,235,064	7,724,912
営業利益又は営業損失(△)	284,960	△1,299,030
営業外収益		
受取利息	861	618
受取配当金	11,331	10,255
為替差益	13,569	—
受取保険金	—	8,035
雑収入	11,370	14,678
営業外収益合計	37,132	33,587
営業外費用		
支払利息	1,615	4,646
為替差損	—	11,544
雑損失	247	219
営業外費用合計	1,863	16,410
経常利益又は経常損失(△)	320,229	△1,281,853
特別利益		
事業譲渡益	80,000	—
保険解約益	6,000	—
投資有価証券売却益	—	69,556
その他	12	859
特別利益合計	86,012	70,416
特別損失		
固定資産除却損	2,339	2,079
減損損失	133,411	76,484
店舗臨時休業による損失	—	38,420
その他	2,565	—
特別損失合計	138,317	116,984
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	267,925	△1,328,421
法人税、住民税及び事業税	75,557	67,104
法人税等調整額	15,286	3,801
法人税等合計	90,843	70,905
四半期純利益又は四半期純損失(△)	177,081	△1,399,327
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,024	△6,354
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	189,105	△1,392,972

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	177,081	△1,399,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,594	△9,218
為替換算調整勘定	△16,998	6,811
その他の包括利益合計	1,596	△2,407
四半期包括利益	178,677	△1,401,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,250	△1,395,315
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,572	△6,418

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	267,925	△1,328,421
減価償却費	278,367	251,488
減損損失	133,411	76,484
のれん償却額	50,329	50,329
為替差損益(△は益)	△13,569	11,544
事業譲渡損益(△は益)	△80,000	—
投資有価証券売却損益(△は益)	1,237	△69,556
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,462	155,780
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△3,888	△2,677
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,459	△440
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△79	22,747
受取利息及び受取配当金	△12,192	△10,873
支払利息	1,615	4,646
固定資産除却損	2,339	2,079
店舗臨時休業による損失	—	38,420
保険解約益	△6,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	37,467	△28,032
たな卸資産の増減額(△は増加)	△184,199	94,431
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,715	△23,835
未払金の増減額(△は減少)	△150,804	△382,242
その他	△132,961	△141,831
小計	172,279	△1,279,959
利息及び配当金の受取額	11,411	10,544
利息の支払額	△1,671	△4,876
保険金の受取額	6,000	—
法人税等の支払額	△15,135	△43,928
法人税等の還付額	—	41,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	172,884	△1,276,467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△920,078	△115,920
投資有価証券の売却による収入	120	111,026
貸付けによる支出	△46,676	—
差入保証金の差入による支出	△15,500	△20,795
差入保証金の回収による収入	173,996	35,800
事業譲渡による収入	80,000	—
その他	34,378	△30,872
投資活動によるキャッシュ・フロー	△693,760	△20,761

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	27,865	3,080,000
長期借入金の返済による支出	△189,405	△320,148
自己株式の取得による支出	△66	△182
配当金の支払額	△131,694	—
非支配株主からの払込みによる収入	16,866	—
リース債務の返済による支出	△18,074	△14,571
自己株式の売却による収入	3,180	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△291,327	2,745,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,239	6,796
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△816,442	1,454,665
現金及び現金同等物の期首残高	4,833,473	4,485,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,017,030	5,939,920

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による会計上の影響

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、依然として同感染症の影響は収束しておらず、今後の当社グループを取り巻く経営環境は引き続き予測が困難な状況ではありますが、今後感染拡大による緊急事態宣言発令等経済活動に著しく悪影響を及ぼす状況が生じることは想定しておらず、当連結会計年度末までに緩やかに収束していくものと仮定し繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損の会計処理を行っております。

当該仮定は、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期を含む仮定から重要な変更はありません。

雇用調整助成金

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、店舗の営業時間短縮や臨時休業を実施したことにより支給した休業手当等について、雇用調整助成金等の特例措置の適用を受け、支給見込額133,199千円のうち2020年9月30日までに入金があった支給額35,203千円を販売費及び一般管理費の給与及び賞与から控除しております。

店舗臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、店舗の臨時休業を行いました。店舗の臨時休業中に発生した固定費（地代家賃等）を店舗臨時休業による損失として、特別損失に計上しております。